

第2学年 外国語科学習指導案

指導者 塩山中学校 中村 大介
David Over

1 単元名

Unit5 Earthquake Drill (Here We Go English Course2)

2 単元について

○教材観

本単元では、防災について扱う。教科書のストーリーでは、登場人物たちが学校の避難訓練を行うにあたり、グループで地震発生時に何をすべきかを議論する。また、グループでの話し合いで出た疑問点・問題点を解決しながら、地域に住む外国の人に向けての防災マニュアルを作成し、クラスの他の生徒へ成果を発表する。さらに、学校だけでなく家庭でできる事前準備として、防災バッグについて触れている。どの物品が何のために必要かを考えながら、防災バッグに入れるべきものを話し合いながら決めていく。

生徒にとって、台風や地震など災害はとても身近な話題である。本校でも避難訓練やシェイクアウト訓練を行い、非常時に備えている。世界の活火山の7%が日本にあり、マグニチュード6.0以上の地震の18.5%が日本で起きているという事実もある。SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」の観点を踏まえ、甲州市に住む、外国から来た人々に防災について語ったり、非常時に取るべき行動や今からできる準備、心がまえなどを的確に伝えたりできるような生徒を育成したい。また、生徒自身も防災への意識を高められる指導を、この単元を通して行いたいと考える。

○生徒観

本学級(塩山中学校2年1組)の生徒は、中学校入学時から帯活動として写真や教科書の挿絵等を見て、英語でその状況や関連する事柄について説明したり、口頭で説明したことをもとに書く活動を行ったりしてきた。ペアやグループで活動する中で、自分自身の英語表現の正確さや豊かさを学び合い、教師がフィードバックすることで、動機付けを行ってきた。生徒は話すこと・書くことに対して継続して意欲的に取り組んでいる。外国語に対する意識は、個人差はあるが、どの生徒もあきらめずに挑戦しようとする姿勢をもっている。

Unit1では、ある日の日記を書く活動を行った。生徒は、動詞の過去形や過去進行形を用いて、過去にしたこと(していたこと)について詳しく説明し、その時の自分の気持ちや他者の様子がどうだったかなどに触れながら、書きあげることができた。Unit2では、好きなことやこれからしたいと思っていること、得意なことなどを伝え合った。生徒は、動名詞や不定詞を活用したり、接続詞thatを使って意見や考えを述べたりしながら、自分の興味のあることについて表現した。Unit3では、What do you want to do this summer?をSmall Talkのトピックとし、ペアでやり取りを行った。自分の夏の予定をwillやbe going toなどを用いるとともに、1年時に同様のトピックを扱った際に使用したwant toを活用しながら表現することができた。Unit4では、Unit3のSmall Talkを更に深めて、次の長期休みにどこへ行きたいか、またその理由として、具体的な施設や観光スポットを挙げたり、誰にどんなお土産を買いたいかなどを述べたりした。There is/are～や目的

語を2つとる一般動詞，不定詞の形容詞的用法を活用し，会話の内容を膨らませることができた。

本単元では，これまでに学習してきたことを活用しながら，甲州市に住む外国から来た人々に地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備について伝える防災マニュアルを作成するという課題に取り組む。この課題を通して，非常時において相手の状況に合った情報を適切に判断して伝えることができる生徒を育成できるよう指導したい。

○指導観

本単元の指導にあたっては，帯活動として，毎時間の最初に学習者用デジタル教科書を使用し，**What do you know about earthquake safety actions?** という問いのもと，ペアでの会話を行う。この活動の中で，毎時間のストーリーから学ぶ表現や生徒たちが話したい表現を，実際のコミュニケーションの中で使用させ，単元終末の「甲州市に住む外国から来た人々に地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備について伝える防災マニュアルを作成する」という課題につなげていきたい。第1時は，学習者用デジタル教科書を使い，教科書のストーリー全体を通して聞いて，おおまかな内容をつかむ。また，**What do you know about earthquake safety actions?** という問いのもと，ペアで会話を行う。この活動を帯活動として行い，生徒が防災について英語で発信できるよう指導したい。第2時は，教科書本文の内容を捉え，**have to**～の意味や使い方を理解する。第3時では，避難訓練についての対話の中から，避難訓練や地震発生時にとるべき行動について説明する際に使えるような表現を取り上げ，**Small Talk** に活かしていく。第4時では，特に地震発生時に大切にすべき3つの動作について知る。生徒は6月と10月にシェイクアウト訓練をすでに実施しているため，知識として印象に残っているはずである。また，助動詞 **must** の意味や使い方を押さえる。第5時では，リスニング問題を通して，災害から身を守るための注意事項を聞き取り，災害時にはならないことを伝えられるようにする。第7時では，防災バッグを話題とした会話文を読み，助動詞 **should** の意味や使い方を学ぶ。第8時では，防災バッグの中身について，グループやペアで議論し，理由を考えながら必要なものを選ぶ。第9時には，イギリスから来て日本に住んでいる **ALT** に向けて，ニーズに合ったアドバイスを考え，伝える活動を行う。そして，第10時には，甲州市に住む外国から来た人々に地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備について伝える防災マニュアルを作成する。

この単元を通して，生徒が自分の地域や防災について関心を持ち，地域の多様な人たちのことを受け入れ，非常時であっても地域社会の一員として状況を打開しようとする大切さを改めて感じる機会としたい。

3 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第2学年）

話すこと [発表]	書くこと
社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて，自分で作成したメモなどを活用しながら，考えたことや感じたこと，その理由などを，簡単な語句や文を用いて8文程度で話すことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて，考えたことや感じたこと，その理由などを，簡単な語句や文を用いて10文程度で書くことができる。

4 単元の目標

外国から来た甲州市に住む人々に安心してもらうように、防災訓練や防災バッグに関して書かれた英文を読んだり、地域の防災マニュアルなどを参考にしたりしながら、峡東地域防災リーダーとしてアドバイスを述べたり、書いてまとめたりすることができる。

5 言語材料

○表現

have to ～, don't have to ～, must, must not, should, shouldn't, get down, hold on, stay away from ～, go into ～, in a group, I don't know..., Let's see..., I don't think...

○語彙

earthquake, drill, safety, action, learn, group, discussion, down, shake, post, post office, bathroom, close, door, quietly, iron, protect, drop, cover, safe, knee, wall, head, neck, both, arm, quickly, push, must, calm, instruction, typhoon, into, nearby, lightning, tree, space, prepare, emergency, evacuation, useful, checklist, should, flashlight, whistle, anime, become, member, broadcasting, medicine, towel, glove, reason

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	<ul style="list-style-type: none"> ・have to, should, must を用いた文の構造を理解している。 ・地震が発生した時にとるべき行動や事前にできる準備等を整理し, have to, should, must などの語句や文を用いて話す技術を身に付けている。 	外国から来た甲州市に住む人々に安心してもらうように、教科書本文や防災マニュアルを参考にして、まとまりのある内容で、話している。	外国から来た甲州市に住む人々に安心してもらうように、教科書本文や防災マニュアルを参考にして、まとまりのある内容で、話そうとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・have to, should, must を用いた文の構造を理解している。 ・地震が発生した時にとるべき行動や事前にできる準備等を整理し, have to, should, must などの語句や文を用いて書く技術を身に付けている。 	外国から来た甲州市に住む人々に安心してもらうように、教科書本文や防災マニュアルを参考にして、まとまりのある内容で、書いている。	外国から来た甲州市に住む人々に安心してもらうように、教科書本文や防災マニュアルを参考にして、まとまりのある内容で、書こうとしている。

便宜上、以下のように示す。

ア：「話すこと（発表）」知識・技能 イ：「話すこと（発表）」思考・判断・表現

ウ：「話すこと（発表）」主体的に学習に取り組む態度

エ：「書くこと」知識・技能 オ：「書くこと」思考・判断・表現

カ：「書くこと」主体的に学習に取り組む態度

7. 単元の指導と評価の計画（全10時間）

時間	目標（◆） 主な言語活動（○）	評価			
		知	思	態	◎評価規準（評価方法）
1	<p>◆ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。</p> <p>◆単元のゴールを生徒と共有する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>What do you know about earthquake safety actions?</p> <p>○絵を見て、ストーリーの話題を予測する。</p> <p>○ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。</p> <p>○災害が起きた時、外国から来た人々はどんなことで困るかを調べたり想像したりして、spreadsheet 上で共有する。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
2	<p>◆本文の内容を理解し、避難訓練であることを捉える。</p> <p>◆新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動 Small Talk</p> <p>○p.64 の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>○have to の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>○p.64 の本文を音読する。</p> <p>○地震発生時のアドバイスになりそうな部分に線を引く。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
3	<p>◆地震があったとき、状況に応じてどう行動する必要があるかを考えて表現する。</p> <p>◇帯活動 Small Talk</p> <p>○Listen 登場人物の会話を聞いて、これからしなければならないことやしなくてもよいことを聞き取る。</p> <p>○Speak 家での決まりごとについてたずね合って、自分と友達の違いを見つける。</p> <p>○Write 机が近くにない場合、どうする必要があるかを考えて書く。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
4	<p>◆本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動 Small Talk</p> <p>○p.66 の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>○助動詞 must の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>○p.66 の本文を音読する。</p> <p>○地震発生時と地震が収まった後にしなければならないことをアドバイスとしてまとめる。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

5	<p>◆助動詞 must を使ったラジオ放送を聞いたり，must を使って災害時にしなければならないことなどを話したり，書いたりする。</p> <p>◇帯活動 Small Talk</p> <p>○Listen ラジオ放送を聞いて，聞き取った情報から身を守るための注意事項を理解する。</p> <p>○Speak 災害が起きた時の対応を伝え合う。</p> <p>○Write 避難する際にしてはならないことを書く。</p>			<p>★本時では，目標に向けて指導は行うが，記録に残す評価は行わない。</p>
6	<p>◆本文の内容を捉え，文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動 Small Talk</p> <p>○p.68 の本文を読んで，内容を理解する。</p> <p>○助動詞 should の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>○p.68 の本文を音読する。</p> <p>○地震などの災害に備えて，外国から来た人々にどんなことを伝えれば安心するかを考えて，spreadsheet 上で共有する。</p>			<p>★本時では，目標に向けて指導は行うが，記録に残す評価は行わない。</p>
7	<p>◆助動詞 should を使った会話を聞いたり，助動詞 should を使って話したり，書いたりする。</p> <p>◇帯活動 Small Talk</p> <p>○Listen 登場人物の会話を聞いて，アドバイスを受けてそれぞれがどうすることにしたかを聞き取る。</p> <p>○Speak 登場人物がしたいことに関してアドバイスをする。</p> <p>○Write Nick に対して，防災バッグに入れるものについてアドバイスを書く。</p>			<p>★本時では，目標に向けて指導は行うが，記録に残す評価は行わない。</p>
8	<p>◆防災バッグの中に入れるものを選び，選んだ理由を述べる。</p> <p>◇帯活動 Small Talk</p> <p>○Listening 防災バッグの中身について聞き取る。</p> <p>○Speaking グループで防災バッグの中身を決めて，ペアで理由を伝える。</p> <p>○防災リーダーとして，地震に備えるために，これまでの情報に加えて外国の人に何を伝えておくべきかを防災マニュアルなどを参考に考える。</p>			<p>★本時では，目標に向けて指導は行うが，記録に残す評価は行わない。</p>

9 本時	<p>◆峡東地域防災リーダーとして、ALTのDavid先生を手助けするために、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備、知っておくべきことなどについて伝えることができる。</p> <p>◇帯活動 Small Talk</p> <p>○ALTのDavid先生に、地震が発生したときの対応について、アドバイスをする。(ICT 端末で録画、提出)</p> <p>○対話やChat, Jamboard, 教科書や防災マニュアルなどを活用し、David先生へのアドバイスを、内容面、言語面において改善する。</p> <p>○活動を振り返って自己評価をする。</p>	発	発	発	◎評価規準 ア・イ・ウ 〈動画提出〉
10	<p>◆外国から来た甲州市に住む人々に安心してもらうように、峡東地域防災リーダーとして、防災マニュアルを作成することができる。</p> <p>◇帯活動 Small Talk</p> <p>○地震に備えるために、これまでの情報に加えて外国の人に何を伝えておくべきかを、書いてまとめることができる。(document で提出)</p>	書	書	書	◎評価規準 エ・オ・カ 〈document 提出〉
後日	パフォーマンステスト (※)	発	発	発	

《パフォーマンステストについて》

◎パフォーマンステストの内容

あなたは峡東地区防災リーダーです。近年、山梨県では地震が多く起きており、甲州市でも備えが必要です。今回、防災リーダーとしての仕事の1つとして、甲州市に住む外国から来た方のために、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備などについて伝えることになりました。相手の知りたいことは何かを意識して、伝えましょう。(ICT 端末で動画を撮影し、classroom で提出)

Hi, I'm Mike. I'm from the U.K. I came to Japan one week ago. I cannot speak and read Japanese now. I live in Shimozo in Koshu City. I have my wife and son. He is one year old. What should I do when an earthquake occurs? I really want to know. Thank you.

◎パフォーマンステストにおけるルーブリック (評価基準)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	外国から来た甲州市に住む人々に安心してもらうように、相手のおかれた状況や情報を踏まえながら、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備など、必要と思われるアドバイスを話している。	外国から来た甲州市に住む人々に安心してもらうように、相手のおかれた状況や情報を踏まえながら、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備など、必要と思われるアドバイスを話そうとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	外国から来た甲州市に住む人々に安心してもらうように、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備など、必要と思われるアドバイスを話している。	外国から来た甲州市に住む人々に安心してもらうように、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備など、必要と思われるアドバイスを話そうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

◎パフォーマンステストにおける具体的なゴール例 (下線部は a 評価)

Hi, I'm Kota. I'm a Disaster Prevention Leader. When an earthquake occurs, you have to protect yourself. First, you should get down on your hands and knees. Second, you should get down next to the wall. You must stay away from windows. Third, you should cover your head and neck with your arms. You can have emergency bag, too. I think you should pack a diaper because you have a baby. You shouldn't forget some food for him. You live in Shimozo. You should go to the Enzan Junior High School gym. It's an evacuation place. You can get some food and water there. Thank you.

8 本時の学習

(1) 日時 令和5年11月10日(金) 5校時 13:30~14:20

(2) 場所 塩山中学校体育館

(3) 目標 峡東地域防災リーダーとして、ALTのDavid先生が安心できるように、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備、知っておくべきことなどについて伝えることができる。

(4) 展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準〈評価方法〉
1分	【Greeting】 ・あいさつをする。 (授業前、デザインシートに本日の曜日、日付、天気を入力しておく。)	・あいさつをする。 ・曜日、日付、天気の様子を確認する。	
8分	【Warm-up: Small Talk】 ※帯活動 ・ What do you know about earthquake safety actions? について、ペアで話す。(1分) ・ 1回目はこれまで jamboard にまとめたメモを参考にする。 ・ 2回目は教科書や ICT 端末を閉じ、違うペアで行う。 ・ 3回目に向けて修正を行い、別のペアで行う。	・ 机間指導により、言いあぐねている生徒へ支援を行う。 ・ 2回目終了後、1つのペアを指名して、Small Talk を行い、内容面・言語面に関わる中間指導を行う。	≪中間指導の例≫ <u>内容面</u> ・地震が起きたときの行動だけでなく、事前にできることなどについても話ができるようにする。 <u>言語面</u> ・ have to~/must/should などの既習表現を使用できるようにする。 ・ 中間指導は板書して残す。
3分	【Today's goal】 ・ 本時の目標を確認する。	・ 目標はホワイトボードに提示しておく。	
Goal : 峡東地域防災リーダーとして、David先生が安心できるように、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備、知っておくべきことなどについて伝えることができる。			
	・ ALT のコメントを聞いて、本時の授業の内容について見通しをもつ。		・ ALT のコメントをホワイトボードに掲示する。
ALT のコメント : In Japan, we have a lot of earthquakes. I'm worried. I'm from the U.K. I sometimes can't understand Japanese. I live in Kosu City. I have family. What should I do? Please tell me.			

	<ul style="list-style-type: none"> • JTE と ALT のインタラクションから、ALT のコメントの要点を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> • ループリックを提示し、a 評価と b 評価の違いを意識させる。 • Goal に立ち返らせる。 	<p>《要点となる部分》</p> <p>I can't understand Japanese. / I live in Koshu City. / I have a family.</p>
10 分	<p>【Movie1】</p> <ul style="list-style-type: none"> • David 先生へのアドバイスを話す準備を行う。(1分) • David 先生へ向けてのアドバイスを ICT 端末のカメラアプリを使用して録画する。(2分) <ul style="list-style-type: none"> • 1 回目の動画を提出する。 • David 先生の評価を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> • 何がアドバイスの中に足りていないか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> • 録画を始める前に、相手意識をもたせる。 • 実際にアドバイスを口に出してみ、得たい情報やパフォーマンスにおける課題点を明らかにさせる。 • 動画を classroom 上で提出させ、1～2名の動画をモニターにモデルとして示す。 • a 評価と b 評価の違いを意識させるために、David 先生のコメントの情報量で十分か問う。 	<p>《中間指導の例》</p> <ul style="list-style-type: none"> • どのように始めるか、誰に話しかけるか、何について話すか。 <p>(例) Hi, David. I'll talk about earthquake safety actions...</p> <p>(板書して残す)</p>
8 分	<p>【Sharing Ideas】</p> <ul style="list-style-type: none"> • David 先生にどんな質問をしたいかを生徒どうして相談しながら、Chat に書き込む。 • ALT に質問して、詳しい情報を引き出す。 • 得た情報は Chat に書き込む。 • これまでの授業で、災害が起きた時、外国から来た人々はどんなことで困るか、どんなことを伝えれば安心するかを考えたことを思い出す。 	<ul style="list-style-type: none"> • David 先生にコメントをもう一度読み上げてもらう。 • 質問が出てこなければ ALT のコメントの深めたい部分を意識させる指導を行う。 • 甲州防災ハンドブック(抜粋)、やまなし防災ポータルへのリンクを classroom 上で参照させる。 	<ul style="list-style-type: none"> • David 先生がより多くの情報を欲しがっていることを意識させる。

		<ul style="list-style-type: none"> 必要な単語や表現を教科書から探すよう指導し、言語面での充実を促す。 	
15分	<p>【Movie2】</p> <ul style="list-style-type: none"> David 先生へアドバイスする準備を個人で、あるいは協働して行う。(7分) ALT に質問し、必要な情報をさらに詳しく聞き取る。 Classroom 上の資料やウェブサイトを参考にする。 再度、David 先生へ向けてのアドバイスを ICT 端末のカメラアプリを使用して録画する。(5分) 何度も動画を撮影し、一番よいと思うものを classroom 上で提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> 中間指導のなかで、自分のアドバイスが相手のおかれた状況に配慮しているかを意識させる。 活動の途中でも全体で共有すべき情報や表現を、Chat に書き込むように指導する。 提出された動画から、1～2名の動画を全体で視聴し、この時間の成果を確認する。 	<p>《中間指導の例》</p> <p><u>内容面</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ALT の家族構成や住んでいる場所などの情報に応じたアドバイスができるようにする。 <p><u>言語面</u></p> <ul style="list-style-type: none"> have to～/must/should などの既習表現や Chat で共有した単語や表現を使用できるようにする。 <p>◎ 峡東地域防災リーダーとして、David 先生が安心できるように、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備など、必要と思われるアドバイスを話している。(動画提出)</p>
5分	<p>【Reflection】</p> <ul style="list-style-type: none"> デザインシートに、本時の授業の振り返りを入力する。 <p>【Greeting】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次回の授業の内容を確認する。 あいさつする。 	<ul style="list-style-type: none"> (時間があれば、) spreadsheet の書き込みを取り上げ、振り返りの共有を行う。 	

(5) 評価 「話すこと [発表]」の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	峡東地域防災リーダーとして、David 先生が安心できるように、相手のおかれた状況や情報を踏まえながら、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備など、必要と思われるアドバイスを話している。	峡東地域防災リーダーとして、David 先生が安心できるように、相手のおかれた状況や情報を踏まえながら、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備など、必要と思われるアドバイスを話そうとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	峡東地域防災リーダーとして、David 先生が安心できるように、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備など、必要と思われるアドバイスを話している。	峡東地域防災リーダーとして、David 先生が安心できるように、地震が発生したときにとるべき行動や事前にできる準備など、必要と思われるアドバイスを話そうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

9 板書計画

(1) ホワイトボード1 (Today's Goal / ALT のコメント)

<p><u>Today's Goal</u> 峡東地域防災リーダーとして、David先生が安心できるように、地震が発生した時にとるべき行動や事前にできる準備、知っておくべきことなどについて伝えることができる。</p>	<p><u>David sensei's comment</u> In Japan, we have a lot of earthquakes. I'm worried. I'm from the U.K. I sometimes can't understand Japanese. I live in Koshu City. I have a family. What should I do? Please tell me.</p>
--	---

(2) ホワイトボード2 (中間指導の板書)

<p>(内容面) Hi, David sensei. I will talk about earthquake safety actions.</p>	<p>(言語面) You should / have to / must ~. You should prepare an emergency bag. You should pack ~.</p>
<p>(ALT への質問から得た情報) David has a wife and two cats. → cat food, bottled water , emergency food He lives in Shimoozo. → shelter, Enzan junior high school gym</p>	

添付資料

○デザインシート（スプレッドシート：生徒は ICT 端末で入力） ※生徒は時間毎に用意された 1 つのシートに全員が入力する。

		単元の目標: 甲州市に住む外国から来た人々に、地震が発生したときにとるべき行動や事前に行える準備、知っておくべき情報などについて伝えるために、防災訓練や防災バッグに関して書かれた英文を読んだり、地域の防災マニュアルなどを参考にしたりしながら、峡東地域防災リーダーとしてアドバイスを述べたり、書いてまとめたりすることができる。				
		この時間のポイント: 峡東地域防災リーダーとして、ALTのDavid先生を手助けするために、地震が発生したときにとるべき行動や事前に行える準備、知っておくべきことなどについて伝えることができる。				
No.	Name	Day, Date, Weather	1. small talkで使った、使いたい単語・表現メモ	2. Small Talk自己評価Keep on talking!	3. 今回の授業で学んだ大事なこと・覚えておきたいこと	4. この時間のポイント自己評価(A・B・C)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						